



岡山旭東病院
マスコットキャラクター
「モモコ」

健康 讃歌

by 岡山旭東病院

高齢化とともに増えている変形性膝関節症。
負担の少ないHTO（高位脛骨骨切り術）に注目。

「膝関節の代表的な病気のひとつ『変形性膝関節症』は、加齢とともに軟骨や骨がすり減って、O脚に変形するものです。高齢化社会に比例して患者の数も増え続けており、早い人で四〇代後半から発症し、特に女性の患者数は男性の四倍ですから注意が必要です」と語るのは整形外科の横山勝道主任医長。現在、膝関節症の治療法として注目されるHTO（高位脛骨骨切り術）の第一人者として当科の最前線を率いている。

変形性膝関節症の治療では西日本でもトップクラスの実績を誇る当科。二〇一五年のデータによるとHTO六六件、UKA（人工膝単顆置換術）二三件、TKA（人工膝関節置換術）四六件の手術を手がけなかでも難易度の高いHTOを積極的にこなしている点が特長。横山主任医長にHTOの概要とそのメリットを尋ねてみた。「簡単に言うと、HTOは、O脚からX脚に矯正する手術です。変形によって、膝関節の内側にかかる過度なストレスを、正常な軟骨がある外側へかかるように矯正します。一九六〇年代より普及している手術ですが、以前は術後から体重をかけて歩けるようになるまでに二〜三か月かかっていたため、次第に人工関節の術式に移行していきましました。しかし、数年前に開発された人工骨やチタンプレートの進化によって、HTO術後の入院期間は三〜四週間に短縮しました。自分の膝が温存でき、費用面の負担も人工関節より低減しています」。

さらに患者にとって嬉しいメリットとして横山主任医長は



整形外科
主任医長
横山勝道

「活動性の維持」をあげる。「人工関節は優れた手術方法ですが、スポーツなどが制限されます。その点、HTOはテニスやスキーなど激しい運動も続けられますから、特に若い方には適した手術だと言えます」。その他にもスポーツ障害などで欠けた軟骨を回復させる「自家骨軟骨移植術」にも積極的に取り組んでいる横山主任医長。今年の一月には、アジア規模の学会（韓国釜山で開催）で最優秀賞を受賞した。「患者さんの膝を温存し、あらゆる負担を減らしたい」。横山主任医長率いる整形外科チームの今後の活動が注目されている。

◆お問合せ／岡山旭東病院 ☎〇八六・二七六・三二二二

<http://www.kyokuto.or.jp>

パッチ・アダムスホール
(院内1階多目的ホール)
イベント案内

3月

- ◆四師会バンド演奏会
3/10(木) 15時～16時
- ◆第68回 転倒予防健康教室
3/15(火) 14時～15時
- ◆病院見学ツアー(癒しのコース)
3/25(金) 13時～15時半
[定員10名]
※どなたでもご参加いただけます。コンサート以外は事前にお申し込みをお願いします。
お申込みは 企画広報室 ☎086-276-3231

4月

- ◆第53回 園芸教室
4/16(土) 14時半～16時
材料代1,000円
- ◆第69回 転倒予防健康教室
4/19(火) 14時～15時
- ◆病院見学ツアー(診療コース)
4/22(金) 13時～15時半
[定員10名]
※事前にお申し込みをお願いします。
お申込みは 企画広報室 ☎086-276-3231



日本医療機能評価 3rdG ver1.0 認定

病院組織全体の運営管理と提供される医療についての第3者評価として、



日本医療機能評価の更新審査を7月に受審し、1月に認定されました。全88項目中15項目(患者の意思を尊重した医療、療養環境の整備、チーム医療による診療・ケアの実践、病院組織運営・能力開発等)でS評価(秀でている)と、全国的にも高い評価を得ました。今後も継続して医療の質の向上を図ってまいります。